

東京理科大学
機械工学研究会報



TUSFR JOURNAL

2019 年度 11. 12 月号

Vol. 16. 1

新期始動編

PICK UP

16期始動

メンバー紹介&本期活動記録



TUS Formula Racing

CONTENTS

1. ご挨拶・16期メンバー紹介 ----- p. 2
2. PICK UP : 16期始動 ----- p. 7
3. 活動記録 ----- p. 11
4. スポンサー一覧 ----- p. 13
5. 個人スポンサーのお願い ----- p. 21



TUSFR 16th Project



16期

ご挨拶・メンバー紹介

16期プロジェクトリーダー
電装班・潤滑班・冷却班担当
砂岡 優輔



機械工学研究会第 16 期プロジェクトリーダーを務めさせていただきます砂岡と申します。弊チームは毎年 9 月上旬に開催される全日本学生フォーミュラ大会に参加し、2019 年度で参戦 15 年目を迎えました。2019 年度大会では惜しくも総合 20 位と順位を落としてしまいました。大会を終えて見つかった反省点も多かったですが、第 15 期が目指した車両性能は間違ってはいないと実感しました。第 16 期は昨年度のノウハウを色濃く受け継ぎ、総合順位 9 位以内を獲得することをチームの目標といたしました。決して楽に達成することができることではありませんが、困難に直面した際はメンバー同士や、様々な先輩方、そして弊チームを金銭面及び技術面において支援してくださるスポンサーの皆様の知恵とお力を借りしまして、チーム一丸で精進してまいります。最後になりますが、私たちの活動はスポンサー企業様のご支援が無ければ成り立ちません。この場をお借りしてご支援に厚く御礼申し上げると共に、今後も弊チームの活動へのご賛同をお願い申し上げます。

**16期パワートレインリーダー
吸気班・排気班担当**

白鳥 達己



TUS Formula Racing 16期パワートレインリーダーを務めます白鳥と申します。16期では吸気、排気班を務めさせていただきます。15期のパワートレインでは、エンジンのスペシャリストだった鬼海さんを中心として動かなかったエンジンを修復、改造するなど、今までのパワートレイン班で1番と言っていいほどエンジンをバラした年でした。そのおかげで、不安要素であったエンジンの始動の問題を克服した今期はセッティングの成熟に務めてまいりたいと思います。具体的には、シャシーダイナモによる燃調セッティングや、試走によるセッティングなどです。16期は人数が少ないと弱点があります。しかし、幸いにもこの活動が大好きな元パワートレインリーダーの方々が残ってくれていますので、協力し合って素晴らしいマシンを作り上げていきたいと思います。

最後にはなりますが、この活動を続けていけるは支援してくださるスポンサーの皆様やOB、OGの方々のおかげです。今までのチームの歴史に泥を塗らないように、支援してくださる皆様に恩返しできるように努力してまいります。16期のご支援の方よろしくお願い致します。

16期シャシーリーダー
フレーム班・
コックピット・IA班担当

奥須賀 康佑



機械工学研究会第 16 期シャシーリーダーを務めさせていただきます奥須賀と申します。
フレームを担当しております。

15 期では旋回性能の向上を目標に 1 年間取り組んできましたが、スキッドパッドでは思うような結果が得られず、シャシー班としてはとても悔しい思いをしました。大会で毎年入賞を果たす上位校はスキッドパッドで高いスコアを出し、オートクロス・エンデュランスでは安定した結果を出しています。そのため弊チームが上位へ食い込むためには旋回性能の向上を必須条件です。これまで以上に一つ一つのパーツにこだわる必要があり、1 g でも軽量化できるようチーム全体で取り組んでいきます。また、今年度は主力である 2 年生の人数が過去まれに見るほど少なく、先輩と後輩の繋がりをこれまで以上に強化し、組織力をあげていく必要があることはチーム一同身に染みて感じていることでもあります。

最後になりますが、私たちの活動はスポンサー企業様のご支援が無ければ成り立ちません。この場をお借りしてご支援に厚く御礼申し上げると共に、今後も弊チームの活動へのご賛同をお願い申し上げます。

～ 2 年生 ～

フレーム班・コックピット・IA 班担当担当

奥須賀 康佑

サスペンション班担当

小菅 規央

潤滑班・冷却班・電装班担当

砂岡 優輔

吸気班・排気班・燃料タンク班担当

白鳥 達己

ドライブトレイン班担当

立木 魁

～ 1 年生 ～

フレーム班担当

伊藤 廉

佐藤 竜己

サスペンション班担当

関 豪基

リョウ カン リン

エアロ・カウル班担当

飯野 美海

大平 啓貴

ステア・シフター班担当

渡邊 玄

潤滑・燃料タンク班担当

鈴木 雄太

冷却班担当

嵯峨野 拓海

ドライブトレイン班担当

川崎 凌吾

ペダル・ブレーキ班担当

田中 健聖

吸気・排気班担当

玉田 航

渡邊 竜之介

電装班担当

鶴田 拓

2019 年 11 月現在

PICK UP!

16期始動！



大会が終わり、15期から引き継がれ16期が本格的に始動しました。

各班の今後の予定・目標についてコメントをもらいました。

フレーム班

16期フレームのテーマはドライバビリティの向上です。そのために、モックアップによる適切なドライバーポジションの設定と剛性の向上による操縦安定性の改善を目指します。今期はねじり剛性に加えて新たに曲げ剛性に関する解析をすることで、最低限のパイプでの剛性向上を実現します。さらに15期では満足のいく治具が作れず、溶接によるひずみの影響が大きかったので、今年は他大の意見を参考にしつつ、より正確で製作しやすい治具を考えて参ります。

(奥須賀)

コックピット・IA班

15期プロジェクトではドライバーシートの製作が積層用の型作りにとても苦労しましたが満足のいくシートは出来上がりませんでした。15期プロジェクトではシート製作に重きをおいて取り組みます。また、設計に関してはモックアップでのデータを元にしてドライバーポジションが確定しました。現段階ではヘッドレストの位置決め、シート締結方法の考察をしております。

(奥須賀)

サスペンション班

サスペンション班は、大会後の試走で重量配分が車両運動性能に与える影響について考察しました。重量配分の重要性を認識することができたので、16期での設計に活かしていきたいと考えています。

今期は15期の設計方針を継承しつつ、ホイールベースの拡大と重量配分の最適化を目指します。サスペンション設計は難しい面も数多くありますが、やりがいも感じられます。目標を達成できるよう、尽力していくので、今後とも弊チームをよろしくお願いいたします。

(小菅)

ステアリング班

ステアリング班は、16期でステアリングギヤボックスを新調しようと考えております。干渉のない設計、高い製作精度などを通じて性能の向上を図り、ドライバーが違和感なく操舵できるようにしていきたいです。目標を達成できるよう、尽力していきますので、今後とも弊チームをよろしくお願いいたします。

(小菅)



シフター班

シフター班は、現行のパドルシフト式からレバー式に移行することに決まりました。レバー式にすることで、シフトチェンジの操作感と点火カットスイッチの正確性の向上を目指します。

直近の試走で、カースワップを行い他校のドライバーにシフト操作についてコメントをもらいました。それを参考に基本諸元を練っていきます。

(渡邊)

ドライブトレイン班・ ブレーキ班

昨年に引き続きドラトレ、ブレーキを担当いたします。赤川と申します。

15期ではメインで活動しておりましたが今期はOBという立場から16期プロジェクトに参加させていただきます。今までの経験を活かしより良いものを作ることができるよう一層の努力をしていく所存です。

昨年一年間メインで活動し、スポンサー様やOBの方々、FA多くの方の支えがあってこそこの学生フォーミュラだと実感しております。今までお世話になってきたOBの方々のようにうまく16期のメンバーを支えていければと思います。

今期ともTUSFRをどうぞよろしくお願いいたします。

(赤川)

エアロ・カウル班

15期マシンでは大会期間中にフロントウイングが、仰角が小さくなる方に歪み始め、大会後の試走で走行中に翼端板が路面に接触する状態となってしまいました。ウイングが歪んでしまうことで、狙ったダウンフォースが発生しないばかりか、疲労破断の原因となるので、16期では母材の内部構造を見直し、吊り上げるワイヤーの位置を工夫するなどして改善していきたいと思います。

カウルに関しては、フレームにピッタリ収めることができず、応急処置をして出走するかたちとなってしまったため、先輩方にアドバイスを頂きながら制作精度を向上させていきたいと考えております。

(飯野)

潤滑班・冷却班

潤滑班では、毎年言われ続けている旋回時の油圧不足を改善させることに注力していきたいと思います。冷却班では、排熱によるタイヤ温度の上昇を抑えるためにシュラウド形状を考えることで解決できないかを考えています。どちらの班もエンジンの能力を最大限発揮するために欠かせない部品を設計する班ですし、液体を扱うので、少しでも漏れればその時点で失格となってしまう班なので細心の注意を払って設計を進めていきたいと思います。

(砂岡)

吸気班・排気班

本年度の吸気・排気担当をさせて頂きま
す、白鳥達己と申します。
15期では騒音対策、マッピング調整、スロ
ットルを搭載できなかったこと等様々な課
題が大会の走行データ等から浮かび上
がりました。特に、先日参加させて頂きました富
士アンリミテッド走行会で頂いたコメント
からも、エンジンのマップの課題解決が最
優先であるとのアドバイスを頂くことが出
来ました。

私は昨年、エンジントラブルの多発によ
りエンジンに関しましては講座と併せて
様々な貴重な経験を本活動の中でさせて頂
きましたが、知識の点で先代の吸排気担当
の先輩方にはまだまだ追いつけていないこ
とが現状です。常に勉強をしながらの活動
となると思いますが、弊チームの強みであ
る先輩方の豊富な遺産の蓄積を活用しつつ、
15期の理想を16期で実現出来るよう1年
間尽力していきたいです

(白鳥)



電装班

16期のコンセプトとして、無駄なく、強
く、誰でもつけられる配線というコンセプ
トを立てました。15期では、例年苦しめさ
れる断線によるトラブルを解決するこ
とが出来ました。しかし、電装班の専門職が進
み、班の人しかアセンブリ出来なくな
っていました。16期では人数の問題でどう
しても複数の班を担当するので、1人しか
アセンブリ出来ないとどうしても時間の無
駄が生じてしまいます。そこで、このような
コンセプトを立て、時間の無駄をなくして
いきたいと思います。

(砂岡)

燃料タンク班

15期のマシンは、燃料ポンプがスペー
ス上の問題でタンクの空吸いが起きること
が問題として残りました。16期では、開
発早期に他の担当と話し合ったり先輩方
にアドバイスをいただきたりした上で、十分
なスペースを確保し、上記の問題を解決す
ることが目標です。16期の目標である9
位以内入賞に貢献し、支援してくださって
いる企業様に良い報告ができるよう精一杯
頑張ります。

(鈴木)

●●●● 活動記録 ●●●●

● 9月 14.15 日 HONDA 応用講座

● 9月 14、15日に HONDA 応用講座がありました。この講座では 5月の HONDA 基礎講座から発展して、自分の担当する班だけでなく各班について、HONDA 基礎講座より詳しい知識を学ぶことができました。また、各部品についての講義だけでなく 2018 年度の大会にどのような部品を積んだ大学がどのくらいの数いたか、平均的な車重はどのくらいかなど今まで自分には無かった方向から大会を分析した講義など、とても興味深かったです。他大の鋭い質問や、それに対する返答等、参考になる話を拝聴できる貴重な体験ができました。

● 今回の講座で分からなかったことなどを各人で教えあうなどして、チームのレベルアップを計りたいと思います。
(鷲田・嵯峨野)

● 9月 22 日 サスペンション設計講座

● 9月 22 日、HONDA 主催のサスペンション設計講座に行ってきました。この講座では勿論サスペンションについて、更には車の挙動の事、過去の大会の情報なども得られとても有意義な講座となりました。特にサスペンションに関しては、基礎の部分からある程度の応用的な要素まで網羅的に教えてください、多大な知識を得ることが出来たので、まだまだ未熟な一年生にとってはいい経験になったであろうと思われます。この講座で学んだことを生かし、更なる高みを目指して行きたいです。
(関)

● 9月 29 日 エンジンセッティング講座

● 9月 29 日、ホンダエンジンセッティング講座に参加させて頂きました。私は昨年も受講させて頂きましたが、1年間色々な知識と経験を得た後での本講座はそれらを自分の中で整理し直す良い時間となりました。特に、本年度はエンジンマッピングに力を入れたいこともあり、その仕組みや方法を再度学び直せて良かったです。また、講座終了後の質疑応答の時間は、様々な大学の吸気排気担当者さん達のやり取りが新しい学びのきっかけとなると共にとても良い刺激となりました。

● このような貴重な場を作って頂いたホンダ及びマイスタークラブの皆様、大変ありがとうございます。
(白鳥)

10月20日 NATS 試走

10月20日に日本自動車大学校様のコースをお借りして、16期初の試走を行いました。重量配分を変えたスラロームやスキッパを実施し、違いを確認することが出来ました。16期初めての試走だったこともあり、予定していたスケジュールを全てこなすことはできませんでしたが、1年生のドライバー候補にもスキッパを練習してもらうことが出来たりと実りのある試走となりました。まだまだ、データや走行機会が足りていないのでどんどん走り込んでいきたいと思います。この度はコースを貸して頂きありがとうございました。（砂岡）

10月26日 フレーム並びに溶接講座

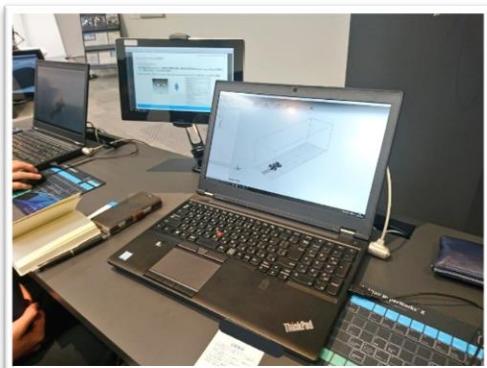
10月26日に「フレーム並びに溶接講座」に参加してきました。午前はフレーム構造について、午後は溶接全般についてそれぞれ学びました。私は溶接が未経験だったので、事前にフレーム班の先輩から溶接を体験させて頂きました。このことによって講師の方が話している内容を具体的に頭でイメージすることができました。配布された資料には、溶接のことだけでなく、フレームの設計のヒントもあったので、自分がフレームを設計する際に役立てたいです

(伊藤)

11月9日 Altair 空力シミュレーション講座

11月9日、Altair Engineering 様の主催する空力シミュレーションの講座に参加して参りました。この講座では主に Altair 様の Virtual Wind Tunnel という外部空気力学解析に特化したソフトウェアの使い方の勉強をしてきました。このソフトウェアはとても使いやすいもので、解析を回すのは初めての私でも難なく扱うことが出来ました。ここで学んだことをエアロデバイスの設計などに応用したいと思います。

(大平)



▲▼▲▼▲ スポンサー一覧 ▲▼▲▼▲

この活動は下記のメインパートナー様のご協力により成り立っています。

[順不同]

○エンジン関係

株式会社 IDAJ 様

<https://www.idaj.co.jp/>

エムエフマツモト有限会社 様

<http://www.mf-matsumoto.co.jp/>

マレリ株式会社 様

<https://www.marelli-corporation.com/>

株式会社キノクニエンタープライズ 様

<http://www.kinokuni-e.com/>

株式会社グループ・エム 様

<http://www.gruppem.co.jp/>

株式会社ケーヒン 様

<http://www.keihin-corp.co.jp/>

近藤科学株式会社 様

<http://kondo-robot.com/>

三恵技研工業株式会社 様

<http://www.sankei-gk.co.jp/>

ダイヤモンドエンジニアリング 様

<https://www.diamond-eng.jp/>

テクノイル・ジャポン株式会社 様

<https://www motul com/jp/ja>

株式会社デンソー 様

<http://www.denso.co.jp/ja/>

有限会社トップラインプロダクト 様

<http://www.tpl.co.jp/>

ニコル・レーシング・ジャパン合同会社

様

<http://www.nicole.co.jp/>

日本オイルポンプ株式会社 様

<http://www.nopgroup.com/>

日本プレート精工株式会社 様

<http://nps1.jp/>

株式会社不二 WPC 様

<https://www.fujiwpc.co.jp/>

有限会社ブレイヴォート 様

<http://www.carvek.jp/>

本田技研工業株式会社 様

<http://www.honda.co.jp/>

丸紅情報システムズ株式会社 様

<http://www.marubeni-sys.com/>

リオン株式会社 様 http://www.riion.co.jp/	コンチネンタル・オートモーティブ 株式会社 様 http://www.continental-automotive.jp/
株式会社和光ケミカル 様 https://www.wako-chemical.co.jp/	株式会社サイアン 様 http://www.cyan-rs.com/
○フレーム関係	有限会社コスモ精密 様 http://www.kinzoku-sisaku.co.jp/pc/
井上特殊鋼株式会社 様 http://www.issgrp.co.jp/	セキダイ工業株式会社 様 https://www.sekidai.co.jp/
栄鋼管株式会社 様 http://www.sakae-koukan.co.jp/	ゼット・エフ・ジャパン株式会社 様 http://www.zf.com/ap/content/ja/japan/corporate_jp/homepage_jp/homepage.html
有限会社昭立製作所 様	株式会社タケパーツファクトリー 様 https://takepartsfactory.co.jp/
○シャシー関係	株式会社東京アールアンドティー 様 http://www.tr-d.co.jp/
株式会社井上鉄工所 様 http://www.inoue-tekko.co.jp/	日信工業株式会社 様 http://www.nissinkogyo.co.jp/
エヌ・エム・ビー販売株式会社 様 http://www.nmbhanbai.com/	ニッパツ機工株式会社 様 http://www.nkiko-nhkspg.co.jp/
オーゼットジャパン株式会社 様 http://www.oz-japan.com/	日本精工株式会社 様 http://www.jp.nsk.com/jp/index.html
オートマックス株式会社 様 https://www.autamax.co.jp/	日本トムソン株式会社 様 http://www.ikont.co.jp/
協和工業株式会社 様 http://www.kyowa-uj.com/	日本発条株式会社 様 http://www.nhkspg.co.jp/
GOODRIDGE 様 http://goodridge.com/	

株式会社ホンダテクノス 様

<http://hondatechnos.com/>

有限会社プラスミュー 様

<http://www.plus-myu.com/>

株式会社ユタカ技研 様

<http://www.yutakagiken.co.jp/>

株式会社レアーズ 様

<http://www.lears.jp/>

株式会社ワークスベル 様

<http://www.worksbell.co.jp/>

大成プラス株式会社 様

<http://taiseiplas.lekumo.biz/>

○電装関係

Aim Tech Srl 様

<http://www.aimsports.jp/>

LDL Technology 様

<http://tire-watch.jp/index.html>

住友電装株式会社 様

<http://www.sws.co.jp/>

株式会社センサーダ・テクノロジーズ
ジャパン 様

<http://www.sensata.com/japan/>

タイコエレクトロニクスジャパン
合同会社 様

<http://www.te.com/jpn-ja/home.html>

○カウル関係

旭化成建材株式会社 様

<https://www.asahikasei-kenzai.com/>

株式会社エステーリンク 様

<https://www.st-link.co.jp/company.html>

公進ケミカル株式会社 様

<http://www.kohshin-chem.co.jp/>

株式会社コバックス 様

<http://www.kovax.com/>

サイバネットシステム株式会社 様

<http://www.cybernet.co.jp/>

有限会社Dショップアサヒ 様

<http://www.showup-asahi.com/index.html>

株式会社シグナル SHOW UP サポートセ
ンター 様

<http://www.showup.jp/index3.html>

フューチャーテクノロジー株式会社 様

<http://www.future-technology.jp/>

ヘンケルジャパン株式会社 様

<http://www.henkel-ac.jp/>

株式会社ミナロ 様

<http://www.minaro.com/>

RAMPF Group Japan 株式会社 様

<http://www.rampf-group.jp/jp/>

Oxeon AB 様

<http://oxeon.se/>

ケー・ケー・ヴィ・コーポレーション
株式会社 様

<http://www.kkv.co.jp/>

佐藤真空株式会社 様

<http://www.satovac.co.jp/>

有限会社大竹製作所 様

<http://www.ohtake-ss.co.jp/>

ダイセル・エボニック株式会社 様
<http://www.daicel-evonik.com/company/>

株式会社共和電業 様

<http://www.kyowa-ei.com/jpn/company/index.html>

日本トムソン株式会社 様

<https://www.ikont.co.jp/>

○ ドライブトレイン関係

NTN 株式会社 様

<http://www.ntn.co.jp/japan/>

株式会社エフ・シー・シー 様

<http://www.fcc-net.co.jp/>

株式会社江沼チェン製作所 様

<http://www.enumac.jp/>

○ コックピット関係

オートリブ株式会社 様

<https://www.autoliv.jp/>

シールドエアージャパン合同会社 様

<http://www.sealedair-japan.com/>

株式会社キャロッセ 様

<https://www.cusco.co.jp/>

株式会社深井製作所 様

<http://www.fukai.co.jp/>

エイム株式会社 様

<https://aim-info.co.jp/>

○ その他

株式会社アネブル 様

<http://www.enable-os.co.jp/Default.aspx>

株式会社ファソテック 様

<http://www.fasotec.co.jp/japanese/company/>

アルテアエンジニアリング株式会社 様

<http://www.altairjp.co.jp/>

株式会社旭スプリング製作所 様

<http://asahi-spring.co.jp/company.html/>

アンシス・ジャパン株式会社 様

<https://www.ansys.com/ja-jp>

大成プラス株式会社 様
<http://taiseiplas.lekumo.biz/>

イグス株式会社 様
<http://www.igus.co.jp/>

NOK 株式会社 様
<http://www.nok.co.jp/>

オイレス工業株式会社 様
<http://www.oiles.co.jp/>

株式会社神戸製鋼所 様
<http://www.kobelco.co.jp/>

シティーカート 様
<http://www.precision.co.jp/citykart/>

ジュニアモーターパーククイック羽生 様
<http://919.ms/>

ソリッドワークス・ジャパン株式会社 様
<http://www.solidworks.co.jp/>

公益財団法人電通育英会 様
<http://www.dentsu-ikueikai.or.jp/>

株式会社東日製作所 様
<https://www.tohnichi.co.jp/>

都ステンレス工業株式会社 様
<https://www.miyakost.co.jp/>

新羽金属工業株式会社 様
<http://www.nippa-kk.co.jp/>

株式会社日本ヴィアイグレイド 様
<http://www.vi-grade.co.jp/>

株式会社友栄精密 様
<http://www.tomoeiseimitsu.co.jp/>

株式会社ニフコ 様
<http://www.nifco.co.jp/>

株式会社 Project White 様
<http://shop.tsukumo.co.jp/>

有限会社柳澤精機 様
<http://www.yanagisawa-sk.co.jp/>

日本自動車大学校 様
<http://www.nats.ac.jp/pc/home.html>

株式会社ノルトロックジャパン 様
<http://www.nord-lock.com/ja/>

株式会社ハイレックスコーポレーション 様
<http://www.hi-lex.co.jp/>

株式会社フジ・コーポレーション 様
<https://www.fujicorporation.com/shop/>

株式会社富士精密 様
<http://www.fun.co.jp/>

古藤工業株式会社 様
<http://www.furuto.co.jp/>

堀越精機株式会社 様
<http://www.horikoshi-seiki.co.jp/>

有限会社マルニ精機 様

<http://www.maruni-seiki.com/>

株式会社マックスネット 様

<http://www.maxnt.co.jp/>

株式会社ミスミ 様

<http://jp.misumi-ec.com/>

水戸工機株式会社 様

<http://www.mitotool.com/index.htm>

三和メッキ工業株式会社 様

<http://www.sanwa-p.co.jp/>

株式会社ロブテックス 様

<http://www.lobtex.co.jp/>

アカオアルミ株式会社 様

<http://www.akao.co.jp/>

ユーロポート株式会社 様

<http://www.europoport.jp/>

株式会社 VSN 様

<http://www.vsn.co.jp/>

若園精機株式会社 様

<http://wakazono.jp/>

株式会社エステーリンク 様

<http://www.st-link.co.jp/index.html>

株式会社石井機械製作所 様

<http://www.iks-web.co.jp/>

サンワトレーディング株式会社 様

<http://www.sunwa-trading.co.jp/company/companyoutline/>

近藤技研株式会社 様

<http://kondougiken.com/>

○Special Thanks

東京理科大学 OB・OG 様

東京理科大学機械工作室 様

東京理科大学理窓会 様

<http://tus-alumni.risoukai.tus.ac.jp/>

東京理科大学こうよう会 様

<http://www.tus-koyokai.com/>

HONDA マイスタークラブ 様

<http://www.honda.co.jp/philanthropy/event/f-sae/meister/>

日産自動車株式会社 様

<http://www.nissan-global.com/JP/FORMULA/>

ニッポンレンタカーサービス株式会社

柏店 様

<http://www.nipponrentacar.co.jp/>

○個人スポンサー様

栗田真一 様

TUS Formula Racing は以下の皆様からご支援して頂いております（敬称略・順不同）



NC旋盤加工・MC加工
堀越精機 株式会社



日本トムソン株式会社



精密部品加工、短納期試作、難削・難形状加工、同時5軸加工



株式会社 旭スプリング製作所





個人スポンサーのお願い

東京理科大学機械工学研究会（TUS formula racing）を応援してくださるスポンサーを探しています。我々の活動は学生主体のため活動資金が乏しく学生の負担額も小さくありません。何卒よろしくお願いします。

支援特典として以下の活動を行います

- ・会報に個人スポンサーとして掲載
- ・企画書、会報、大会結果報告書の配布

学生フォーミュラの活動に興味を持ってくださった方、ご支援のご検討をしていただける方のご連絡をお待ちしております。

個人スポンサー 1口 5000円～

銀行名: 三菱東京 UFJ 銀行

支店名: 柏中央支店

口座科目: 普通預金

店番: 275

口座番号: 1485402

東京理科大学 機械工学研究会 代表 砂岡優輔（スナオカ ユウスケ）

ご支援して頂ける方はこちらのアドレスまでご連絡ください

Email: tusfr.mail@gmail.com

memo



TUS
FORMULA RACING

東京理科大学 機械工学研究会 (Tokyo University of Science Formula Racing Team)

WEB : <http://www.facebook.com/tusfr>

E-mail : tusfr.mail@gmail.com

Facebook : <https://ja-jp.facebook.com/tusfr/>

Twitter : <https://twitter.com/tusfr>

次号予定 マシン設計編 (2月上旬ごろ)